

ルリイトトンボ



ルリイトトンボ (瑠璃系蜻蛉)

トンボ目イトトンボ科

【名前の由来】

瑠璃色 (濃い紫色がかった鮮やかな青色) をして、お腹の部分が細かいから、と言われていました。

【体長】全長：32~37mm

とても繊細な美しいトンボです。

【特徴】 成熟すると体の色 (斑紋) が変化します。

オス：青色に変化します。

メス：黄緑色に変化するタイプと青色に変化するタイプがあります。

【生息地】 寒冷な山地の池や沼。水底に根をはる水生植物が生い茂っている所。

岩手県内では…八幡平市・滝沢市・雫石町の山地。

【生活史】 1年1世代：1年で一生を終えます。幼虫で冬を過ごし春を迎えます。

卵 6~8月ごろ 10~14日間 ⇒ 幼虫 7か月~1年間 ⇒ 成虫 7月ごろ 1~2か月間

【食べもの】 幼虫期間：カ、魚の稚魚、オタマジャクシなどの水中小動物。

成虫期間：カ、ハエなどの昆虫類やクモ類。



【交尾の様子】 (上:オス 下:メス)

オスはメスを見つけると連結して水生植物にとまり、交尾をします。



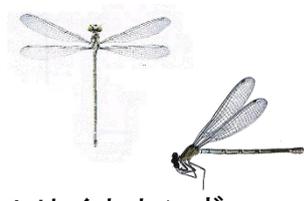
【連結してとまる様子】 (上:オス 下:メス)

連結したまま水生植物にとまり、水面下の植物内に産卵します。メスが水中にもぐって産むこともあります。



トンボのグループ分け

トンボの仲間（トンボ目）は大きく次の3つのグループに分かれています。
 翅の形と腹の太さなどの特徴で見分けることができます。

名前	均翅亜目	ムカシトンボ亜目	不均翅亜目
代表的なもの	イトトンボ科 カワトンボ科	ムカシトンボ科 (世界に2種:日本と ヒマラヤだけに生息)	トンボ科 ヤンマ科 オニヤンマ科
翅の特徴	4枚の翅の形がほぼ 同じ	前後の翅が同じよう な形	前後の翅の形が違う 後翅の付け根が角ば っている
腹の特徴	細くて弱々しい	がっしり	太くてがっしり
すがた 姿	 ルリイトトンボ	 ムカシトンボ	 オニヤンマ

《多様な動植物が生息できる豊かな環境を守りましょう！》

ルリイトトンボは“寒冷な山地の池や沼を代表する種”として※「いわてレッドデータブック（2014年改訂版）」にDランクとして掲載されています。本州では生息地が減少しつつあります。

※「いわてレッドデータブック」って？

岩手県で絶滅のおそれがある種の保護を主な目的として、県内の希少な動植物についてまとめたものです。右の7段階に区分されています。

絶滅	すでに絶滅
野生絶滅	飼育・栽培下のみで存続
Aランク	絶滅の危機
Bランク	絶滅の危機が増大
Cランク	生息環境が限られる種
Dランク	Cランクに準ずるものや優れた環境の指標となる種
情報不足	

写真撮影場所 八幡平市松尾寄木 旧松尾鉱山緑ヶ丘団地 島沼にて1979年8月10日

参考にした本 『ネイチャーガイド 日本のトンボ』（株）文一総合出版 2012年/
 『日本産トンボ幼虫・成虫検索図説』 東海大学出版会 1988年 他

来月（12月）の
 けんぱくものしりシートは
 体験学習室-19だよ！
 おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
 Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
 ※「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。